

〈レディブティック2023年初夏号掲載〉

リバティプリントの日傘

使用するミシン・アタッチメント

4本糸ロックミシン
または3本糸ロックミシン(巻きロック対応)
直線ミシン

ミシンの設定は生地によって異なりますので、必ず試縫いをして調整して下さい。

材料

| | | |
|-----------------|---------|------|
| リバティタナローン | 110cm幅 | 1.3m |
| 傘骨(全長約80cm) | | 1本 |
| プラスチックナップ(13mm) | | 1組 |
| テロン接着芯 | 11×11cm | |
| ウーリー糸 | | 1本 |



〈出来上がりサイズ〉

長さ 約80cm
開いたときの直径 約90cm
親骨 48.5cm

【注意】 巻きロックを縫うときは縫い代は切り落とさず、生地端の毛羽(ほつれた糸)だけメスでカットします。

1.飾り布をつくる

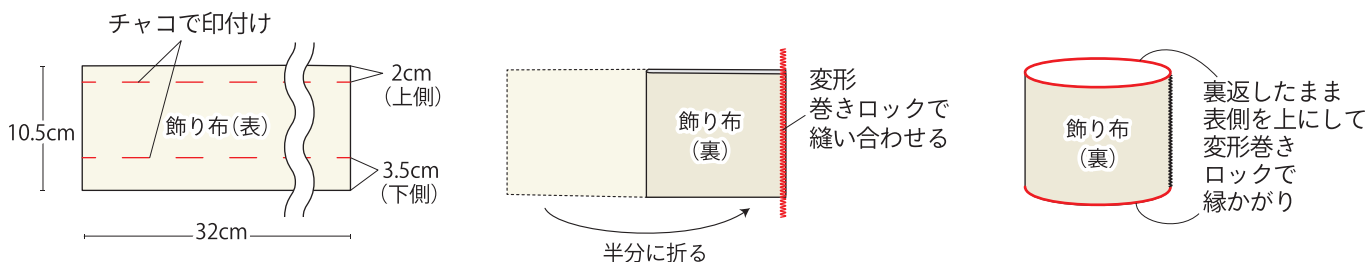
| | | | |
|---------|-----|-------|---------|
| 変形巻きロック | 差動N | かがり幅M | 送り目0.75 |
|---------|-----|-------|---------|

※上ルーバーにウーリー糸を使用

飾り布に下図のようにチャコで印を付けます。

飾り布を中表に折って縫い合わせて輪にします。飾り布の上下の生地端を巻きロックで縁かがりします。表側を上にして縫います。縫い終わりはメスをロックして縫い始めと1cmくらい重ね縫いをします。

空環はとじ針で縫い目の裏に1cm通してカットしておきます。

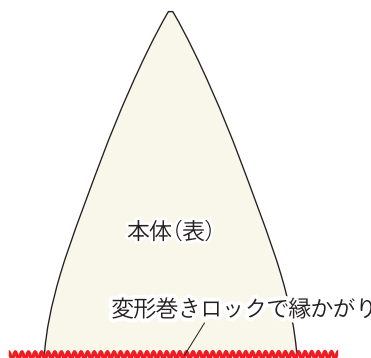


2.生地端の始末

| | | | |
|---------|-----|-------|---------|
| 変形巻きロック | 差動N | かがり幅M | 送り目0.75 |
|---------|-----|-------|---------|

※上ルーバーにウーリー糸を使用

本体の三角の底辺部分を表側を上にして変形巻きロックで縫います。残り7枚も同じように縫います。



※残り7枚も
同じように縫う

3.本体を縫い合わせる

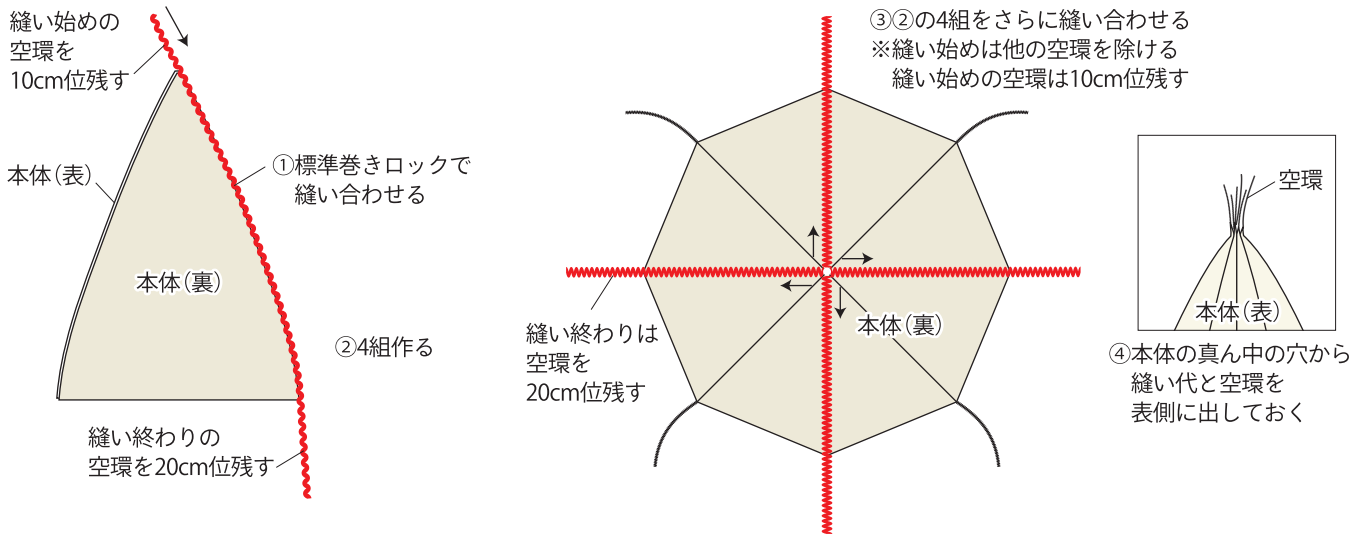
標準巻きロック

差動 1.3

かがり幅 M

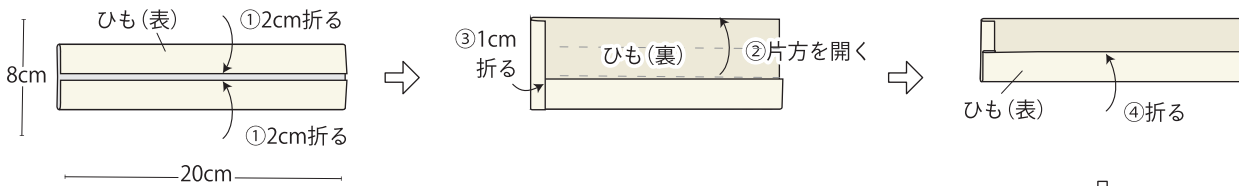
送り目 0.75

本体2枚を中表に合わせます。頂点から標準巻きロックで縫い合わせます。縫い始めの空環は10cmくらい、縫い終わりの空環は20cmくらいそれぞれ残しておきます。4組作ります。次にそれぞれを中表で縫い合わせます。この時も同じように縫い始めと縫い終わりの空環を残しておきます。中心の穴から空環と縫い代を表側に出しておきます。



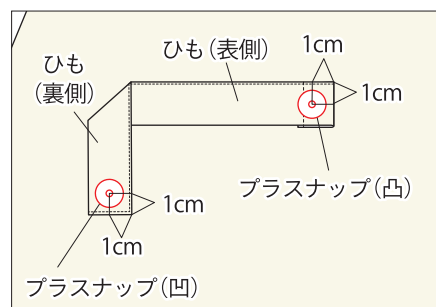
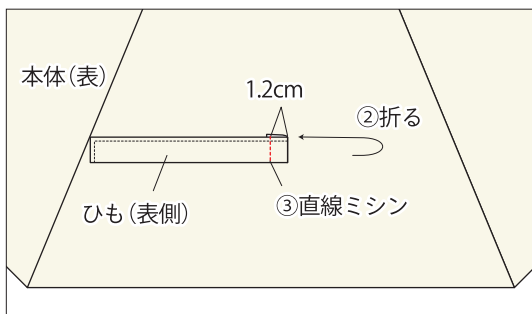
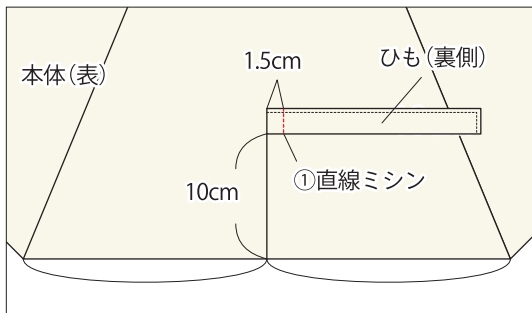
4.ひもをつくる ※直線ミシン

ひもを下図のように折って、直線ミシンで縫います。



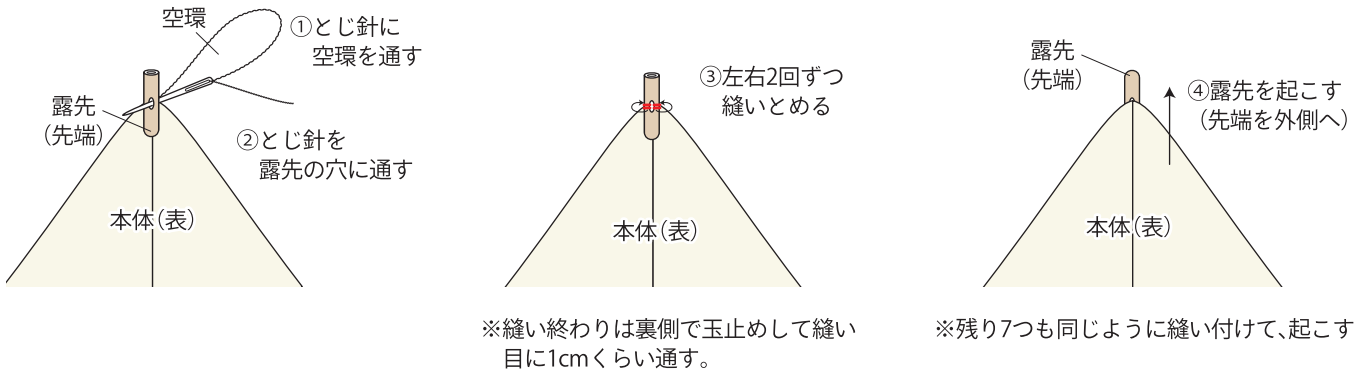
5.本体にひもを付ける ※直線ミシン使用

下図のように本体にひもを縫い付けます。



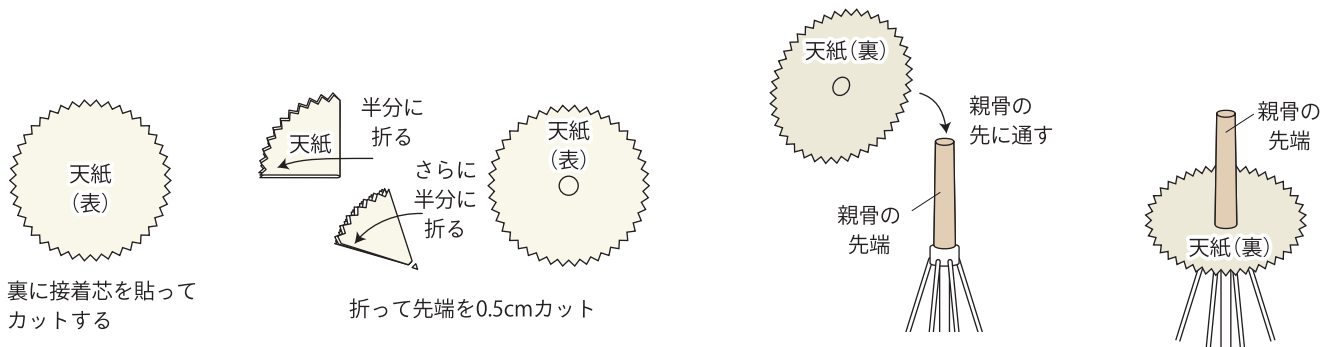
6.露先をつける

残しておいた空環をとじ針に通します。露先の丸くなっている方が内側になるように乗せて、露先の穴に通します。露先の穴を中心にそれぞれ2回通して縫いとめます。同じように7個縫い付けます。露先を起こしておきます。



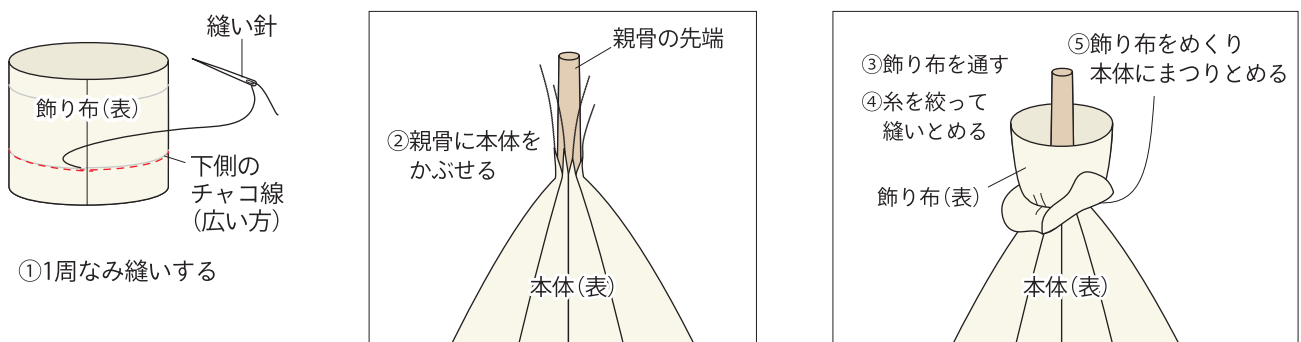
7.天紙をつくる

接着芯を貼った天紙をピンキングばさみで丸くカットします。ピンキングばさみがない場合は普通のハサミでも可。中心に1mくらいの穴を開けます。(3回折って中心を0.5cm切り落とします)天紙を親骨に差し込みます。



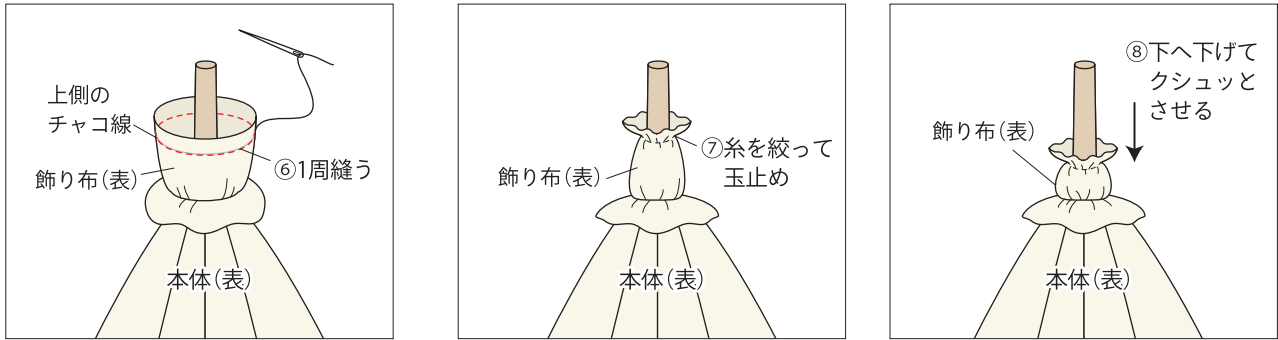
8.飾り布をつける

飾り布の下側のチャコ線部分を1周なみ縫いします。親骨の先端に本体をかぶせます。上から飾り布を通します。糸を引き締めて縫いとめます。飾り布をめくって本体にまつりとめます。



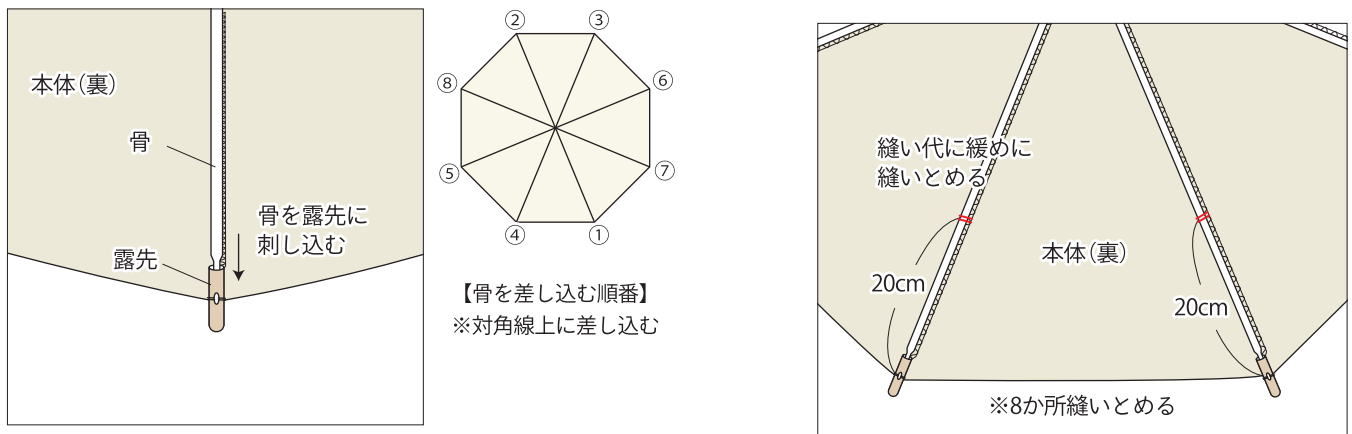
※補強のために親骨に空環を結び付けて、マスキングテープ等を1周貼って固定しておくとも良い。

上側のチャコ線部分を1周なみ縫いします。糸を絞って、玉止めて糸を切ります。飾り布の端を本体側へ下げてくしゅっとさせます。



9.仕上げ

露先を骨の先端に差し込みます。1つ差しこんだら次は対角線の所を差し込みます。これを繰り返して8か所差し込みます。傘を開いて、露先から20cm中に入ったところの骨を本体の縫い代に2回まわして緩めに縫いとめます。残り7か所も同じように縫いとめます。



※傘を開いて机の上において作業すると縫いやすい